

東日本大震災からの
日本復興に向けた
緊急シンポジウム

平成23年4月19日
於 防衛大学校

復興計画策定に向けた 国民的合意形成に導く フレームワークの提案

日本マクロエンジニアリング学会

日本復興研究会

杉野 晋介

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/james2/>

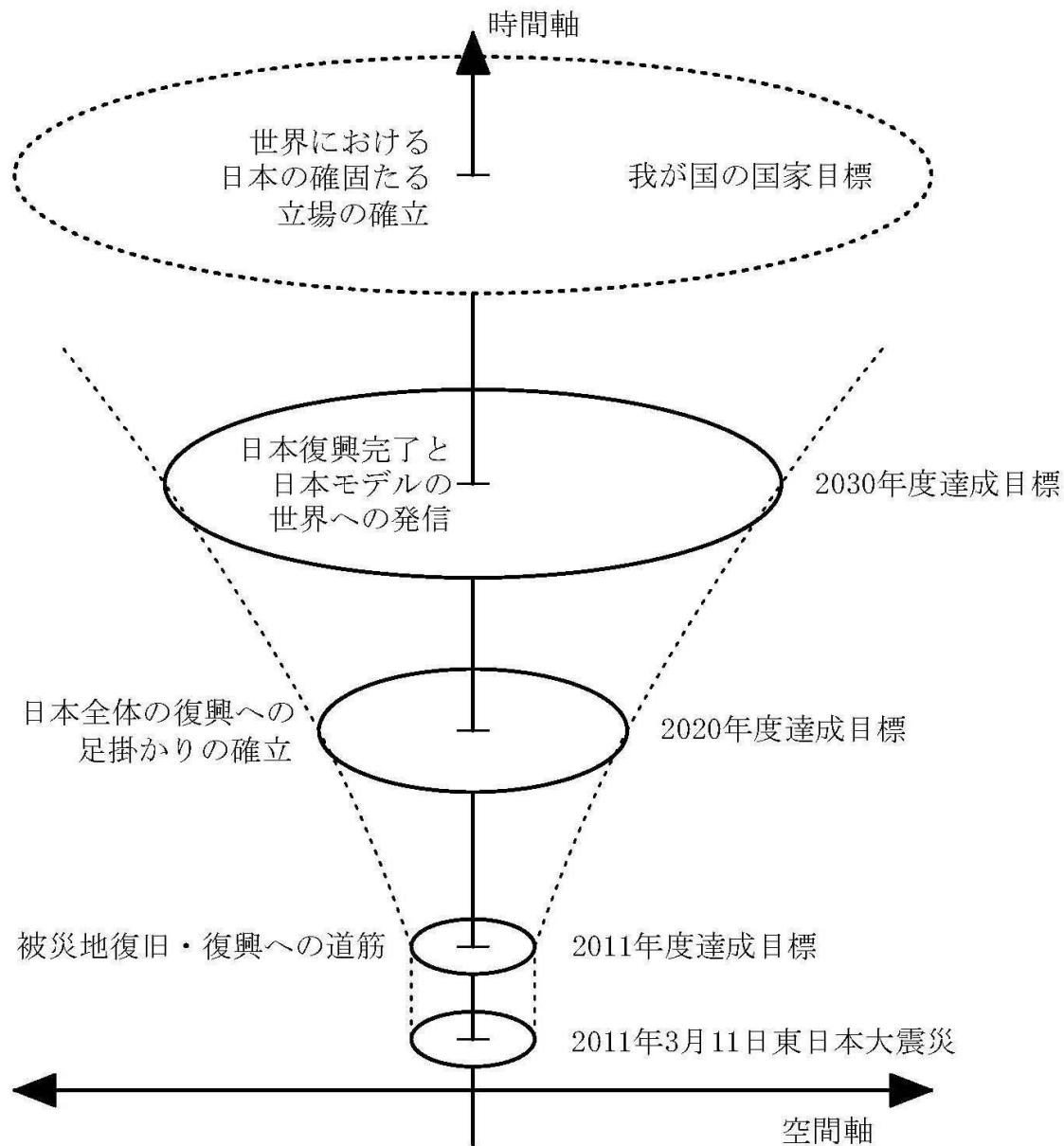
1. 問題意識

- 先例にない広範な被災地
- 電力の構造的な問題
- 特定産業の集中による広範な二次被害
- 被災地の復旧だけではなく、日本の復興
- 長期戦が想定される復旧と復興
- 現政権の政治的な脆弱性
- 「復興構想会議」の特徴：政治主導
- 導き出される「復興計画」実施上の継続性
- 既に始まっている復旧と復興との連続性

2. まず何が必要なのか？

- 短期的復旧・復興計画の早急なる策定
- 実施期間が中長期に至っても、政治情勢で大きく変更されることのない復興計画の策定が重要。
- 国民的な合意を得ることにより、政局的な思惑に左右されない復興計画の策定が重要
- 普遍的な復興計画を策定するために、国民的合意形成に向けたロードマップが必要
- 国民の合意を取り付けつつ（ロードマップ）、有識者の高度な知識を活かすことのできる政策決定フレームワークが必要

3. フレームワークのイメージ



4. フレームワークの事例

我が国の国家目標:

(例) 世界における日本の確固たる地位の確立

国内外の経済状況等の
分析と将来予測

国際情勢等の
分析と将来予測

目標年度	国家目標に向けた課題	目標の選択肢	課題	戦略の選択肢	戦術の選択肢	具体策の選択肢 (5W1Hを意識)
2030年	1. 少子高齢化社会の到来	豊かな高齢者社会の実現	財源の確保	持続可能性輸出産業からの 税収を高年齢者福祉に充 当する	環境・健康・貧困・治安問 題に関するソリューション の輸出 持続可能社会インフラの 輸出	
	2. 人口規模減に伴う日本経 済の停滞	新産業分野の国内外への 展開	新興産業の戦略的選択	持続可能な社会システム のモデル化	工業・農業・住居が近接し た持続可能な住空間の創 設 再生可能資源の生産コス ト削減 化石資源消費から再生可 能資源消費への転換	
	3. 日本外交の脆弱性	世界への発信	発信力のなさ	イメージの創出	「Cool Japan」から「Japan Renaissance」への転換	
	4.					
	5.					

5. 役割分担と作業行程(案)

